

平成26年（2014）7月 入域観光客数概況

7月の観光客数は、65万3,900人
対前年（H25）同月比 +7万人、+12.0%
～7月の過去最高を記録、初の60万人台～

入域状況

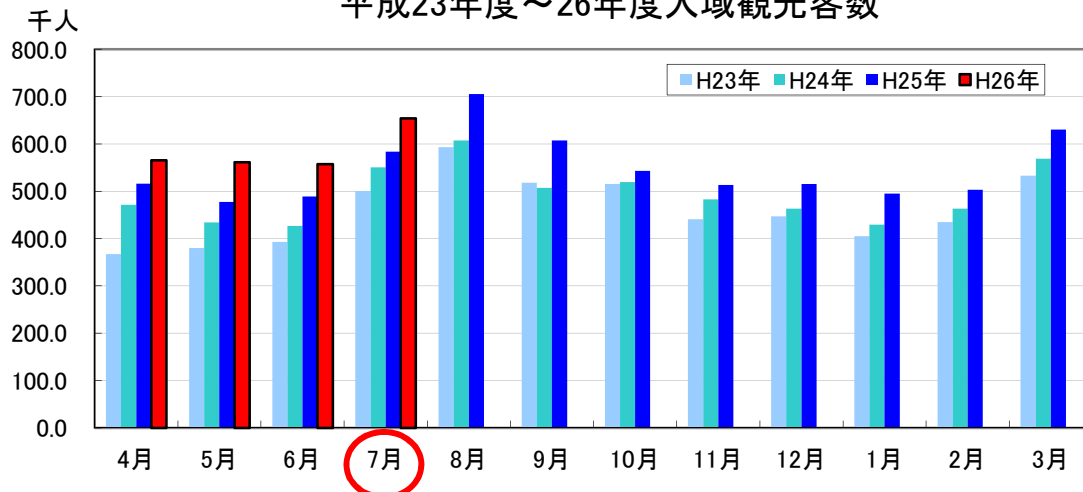
入域観光客数（平成25年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H26年度	H25年度	増減数	増減率	構成比
国内客	561,600 人	518,700 人	+ 42,900人	+ 8.3%	85.9%
外国客	92,300 人	65,200 人	+ 27,100人	+ 41.6%	14.1%
合計	653,900 人	583,900 人	+ 70,000人	+ 12.0%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成25年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H26年度	H25年度	増減数	増減率	構成比
国内客	561,600 人	518,700 人	+ 42,900人	+ 8.3%	87.3%
外国客	81,400 人	56,400 人	+ 25,000人	+ 44.3%	12.7%
合計	643,000 人	575,100 人	+ 67,900人	+ 11.8%	100.0%

平成23年度～26年度入域観光客数



国内客 入域状況

7月は、台風8号の影響で上旬は減少したものの、中旬・下旬は好調であった。台風の影響で提供座席数はやや減少したものの、夏休みの旅行シーズンということもあり、利用率が向上し、前年度を上回った。

8月は、台風11号の影響でキャンセル等があったものの、旅行需要は好調であることから前年度並みは期待出来る見込み。

外国客 入域状況

7月は、国内客同様台風の影響があったものの、空路客を中心に増加した。特に航空路線拡充とクルーズ船の寄港により空路海路ともに好調であった中国の伸びが大きい。

8月は、夏休みの旅行シーズンの旅行需要と航空路線の拡充により前年度を上回る見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H26年度	H25年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	292,700 人	266,900 人	+ 25,800人	+ 9.7%	52.1%
関西方面	113,100 人	104,100 人	+ 9,000人	+ 8.6%	20.1%
福岡方面	61,500 人	59,100 人	+ 2,400人	+ 4.1%	11.0%
名古屋	44,900 人	41,800 人	+ 3,100人	+ 7.4%	8.0%
その他	49,400 人	46,800 人	+ 2,600人	+ 5.6%	8.8%
合計	561,600 人	518,700 人	+ 42,900人	+ 8.3%	100.0%

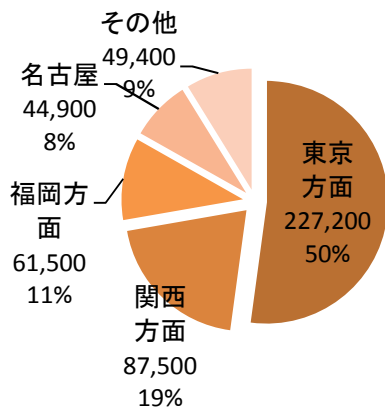
※国内海路客2,700人を含む(大分:800人、鹿児島:1,900人)

外国客 国籍別入域状況

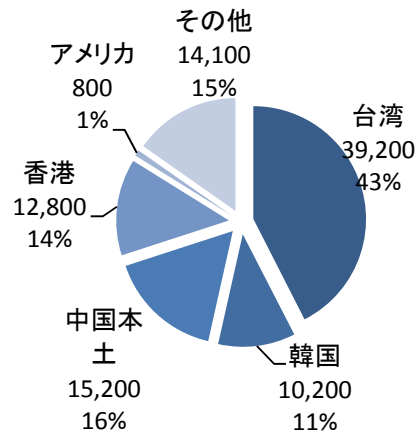
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H26年度	H26年度	H25年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	39,200 人	39,200 人	32,800 人	+ 6,400人	+19.5%	42.5%
韓国	10,200 人	10,200 人	7,800 人	+ 2,400人	+30.8%	11.1%
中国本土	15,200 人	15,200 人	5,400 人	+ 9,800人	+181.5%	16.5%
香港	12,800 人	12,800 人	9,600 人	+ 3,200人	+33.3%	13.9%
アメリカ	800 人	800 人	600 人	+ 200人	+33.3%	0.9%
その他	14,100 人	3,200 人	9,000 人	+ 5,100人	+56.7%	15.3%
合計	92,300 人	81,400 人	65,200 人	+ 27,100人	+41.6%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	29,200 人	29,200 人	+43.1%	44.9%	10,000 人	10,000 人	△19.4%	36.6%
韓国	10,200 人	10,200 人	+30.8%	15.7%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	9,000 人	9,000 人	+164.7%	13.8%	6,200 人	6,200 人	+210.0%	22.7%
香港	12,700 人	12,700 人	+33.7%	19.5%	100 人	100 人	+0.0%	0.4%
アメリカ	800 人	800 人	+33.3%	1.2%	0 人	0 人	-	0.0%
その他	3,100 人	3,100 人	+40.9%	4.8%	11,000 人	100 人	+61.8%	40.3%
合計	65,000 人	65,000 人	+48.1%	100.0%	27,300 人	16,400 人	+28.2%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

7月は、台風の影響があったものの、関東方面での沖縄旅行人気は継続しており、石垣路線や深夜便も好調であり、前年度を上回った。

8月以降は、上旬の台風の影響が懸念されるものの、沖縄観光のトップシーズンであり、本島・離島ともに旅行商品の販売が好調であることから、増加する見込み。

大阪

7月は、台風の影響を受けた上旬を含め、期間全体を通して前年度を上回った。関空－石垣路線や那覇を経由した宮古・久米島への旅行など、離島方面も好調に推移している。

8月は、予約状況は前年度並であったが、台風11号の影響により、前年同月より大幅な増加は期待出来ない見込み。

福岡

7月は、台風の影響を受けたものの、沖縄方面への旅行人気やピーチアビエーションの福岡－那覇路線の新規就航もあり、前年度を上回った。

8月は、台風11号の影響と関西地方・九州内の地域との競合により、前年度並となる見込み。

名古屋

7月は、上旬の台風の影響を受けたものの、中旬・下旬が好調であった。また提供座席数は減少したが、利用率が上昇したため、前年度を上回った。夏向け商品の早期販売が送客につながったようである。

8月は、台風11号の影響が懸念されるものの、本島・離島ともに予約状況が好調であり、前年度並みとなる見込み。

台湾

7月は、華信航空の高雄－那覇路線の増便や6月のエバー航空の台北－那覇路線の新規就航により、空路客が増加した。クルーズ船の寄港回数は前年同月と同じであったが、海路客はやや減少となった。

8月は、路線拡充の影響により空路客が増加する見込み。海路客もスーパースターアキュアスの寄港が前年度より多く予定されていることから、増加が期待できる。

韓国

7月は、航空路線拡充の影響により空路客が好調に推移した。夏休みの時期であることから家族旅行が伸びた。

8月は、9月の秋夕連休のため、中旬以降は需要がやや減少する見込み。9月以降は、連休やクルーズ船の寄港が予定されており、好調に推移する見込み。

中国本土・北京

7月は、夏の旅行シーズンであり、空路客を中心に団体・個人ともに増加した。6月に就航した天津航空の天津－那覇便を利用した北京からの個人客が増加しているもよう。また瀋陽－沖縄のチャーター便により、中国北部からの入込も増加した。

8月以降は引き続き、航空路線の拡充により増加する見込み。インターネット販売の商品も好調であり、また会社単位での団体旅行も増加している。

中国本土・上海

7月は、夏休みの旅行需要に加え、吉祥航空や中国東方航空の上海－那覇路線の増便により空路客が増加した。また、クルーズ船の寄港があったことから、海路客も大幅に増加した。

8月は、航空路線の拡充により空路客を中心に増加する見込み。9月以降は、クルーズ船の寄港が予定されていることから海路客も伸びる見込み。

香港

7月は、夏休みの旅行需要拡大もあり、空路客を中心に好調に推移した。離島への関心も高まっているもよう。

8月以降は、引き続き航空路線拡充の影響により増加する見込み。予約状況は、個人・団体ともに好調である。